

科目名		授業形態	担当教員名	
構音・口腔機能の評価・訓練Ⅱ		講義	今井 絵美子・菊森 清美・太田 信子 赤尾 綾子・岸本 裕子	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
15 時間（1 単位）		8 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
成人の嚥下障害、運動障害性構音障害の評価法の実際、訓練計画につなげる考え方、口腔ケアの手技を修得する。				
授業の到達目標				
口腔ケアを実施することができる。運動障害性構音障害例の録画映像を見て、構音、発声発語器官の運動を観察、分析、記載し、問題点を抽出し、訓練目標を立て、訓練法を選択することができる。さらに、訓練手技を練習して実施できるようになる。嚥下障害に対するリハビリテーションの実際を学び、ケースに沿った援助方法を考えられるようになる。				
授業計画				
回	内容			
1	運動障害性構音障害ケース（検査評価、報告書）提示（太田・今井・菊森）			
2	運動障害性構音障害ケース解説（太田・今井・菊森）			
3	運動障害性構音障害の訓練手技（解説）（今井・菊森）			
4	運動障害性構音障害の訓練手技（演習）（今井・菊森）			
5	口腔ケアの演習（赤尾）			
6	口腔ケアの演習（赤尾）			
7	嚥下障害（検査・評価）（岸本）			
8	嚥下障害（検査・評価）（岸本）			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験				
レポート・課題	100%	ケースレポート70%、感想・レポート30%（いずれも基準に達しない場合は再提出がある）		
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名	出版社名		
言語聴覚療法シリーズ9 改訂 運動障害性構音障害	熊倉勇美	建帛社		
ディサースリア臨床標準テキスト	西尾正輝	医歯薬出版		
標準言語聴覚障害学 摂食嚥下障害学 第2版	藤田郁代	医学書院		
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名	出版社名		
自由記載				
備考				
嚥下障害の講義で使用した、テキスト・プリントを持参するようにしてください。（岸本）				